

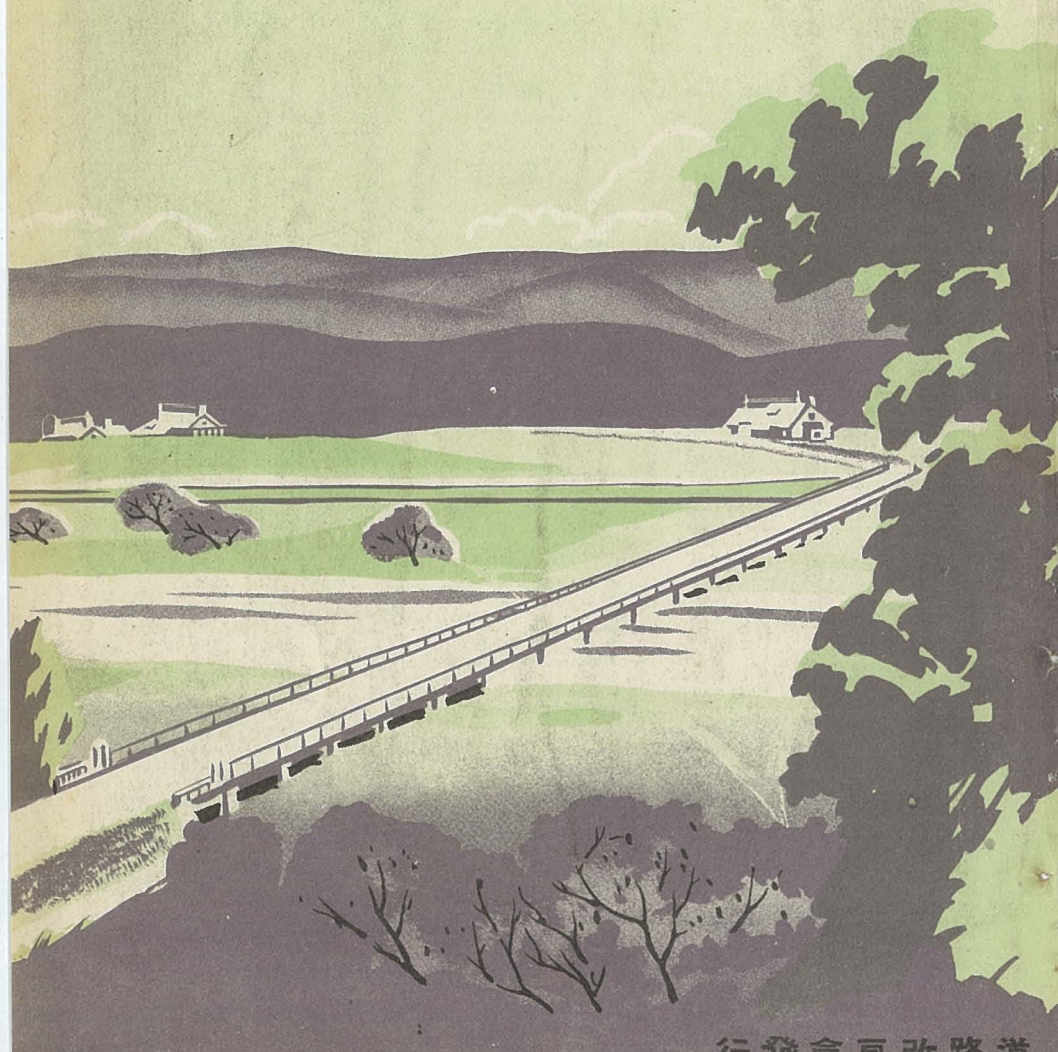
昭和十一年五月二十五日印刷納本
昭和十一年六月一日(毎月一回)日發行

道路の改良

禁 轉 載

第 六 號

第 十 八 卷



鋪裝報國



鋪

東京・丸之内

日本鋪道株式會社

社長 淺利 三朗

東京 大阪 福岡 札幌 京城 台北 新京 橫濱 名古屋 京都

混合用エマルビア施工順序

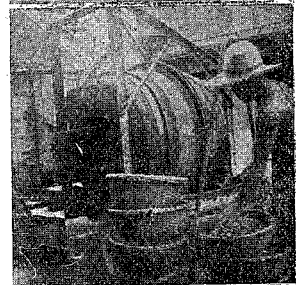
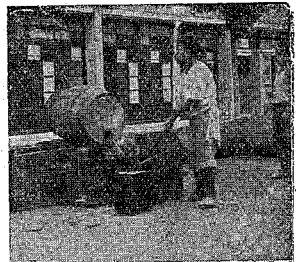
1 混合用エマルビア

2 混合用骨材〔砂利〕

3 混合

4 下層混合材線上

5 下層混合材敷均



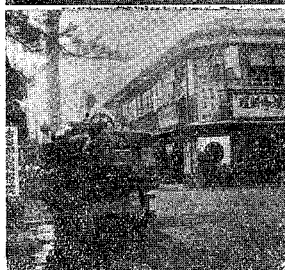
6 碎石撒布

7 輾壓(第一回)

8 封絨層
透入用エマルビア撒布

9 同
上
碎石撒布

10 仕上輾壓



專賣特許

瀝青乳劑エマルビア

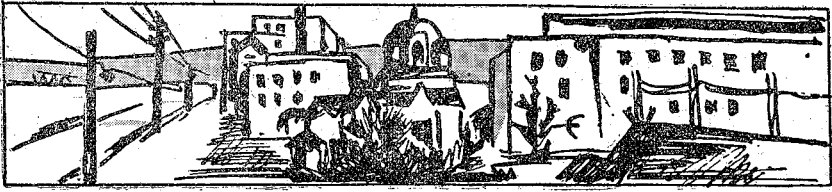
製造販賣及鋪装工事請負

東京瀝材工業所

製造工場
 東京市京橋區銀座西三丁目一丁目
 電話京橋一三二五番
 電話區管澤一三二五番
 電話鶴見一三二五番
 電話鶴見一三二五番
 電話仙臺三、二九〇番
 仙臺市東一、四三番
 電話仙臺三、二九〇番

大倉土木株式會社

東京市京橋區銀座西二丁目二九
 電話京橋自六一五一 至六一五九番



道路の改良 第十八卷 第六號 目次 昭和十一年六月一日發行

口繪 岩崎橋 (秋田縣)

卷頭言 (二)

論說

道路——技術と政治 慶應大學教授 奥井復太郎 (三)

研究

道路交通について 道路改良會理事 中川正左 (三)

技術

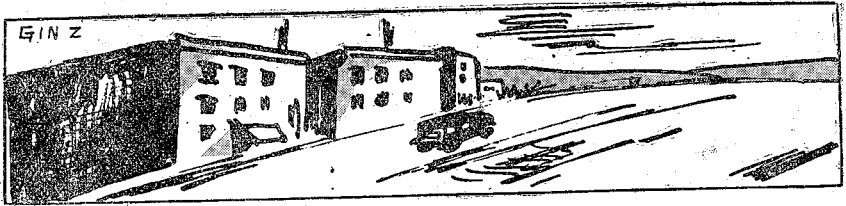
土木工専用塗料の話 (九) 内務技師 西川榮三 (六)

橋脚周圍の洗掘作用について (一) 内務技師 鈴木清一 (五)

說苑

臺灣の道路 (其の四) 拓務省技師 三浦磐雄 (七)

昭和八年度國直轄國道改良工事の實績に就いて (一) 遠藤貞一 (八)



北海道打診 (五) 瀧川勸則 (二〇八)

水郷大橋工事概要 千葉縣技師 今泉佳三郎 (二一九)

富山大橋改築工事報告 富山縣技師 小池啓吉 (三三八)

シヤム通信 稻垣茂樹 (二二五)

地方通信

東北・關東・北陸・東山・東海・近畿・中國・四國・九州・鮮滿の各地方 (三九)

法令

最近内務省に於ける路政關係行政處分例 KN 生 (三五)

路政春秋

國力發展の基礎は交通國策に在り 其他 (七三)

雜報

◎第四調査部委員會◎第八調査部委員會◎國道改良促進の陳情◎大分縣道路工夫の表彰◎宮崎縣
修路工夫表彰 (一九)

◎叙任 辭令 (一九)

編輯室の内外 (一八)

附録第八回道路職員講習會講演集 (十六)

優良品國產



製品ノ選擇ハ先ツ原料ノ
選擇カラ、瀝青乳劑ノ
良否ハ原料アスファルト
ノ選定カラ

瀝青乳劑

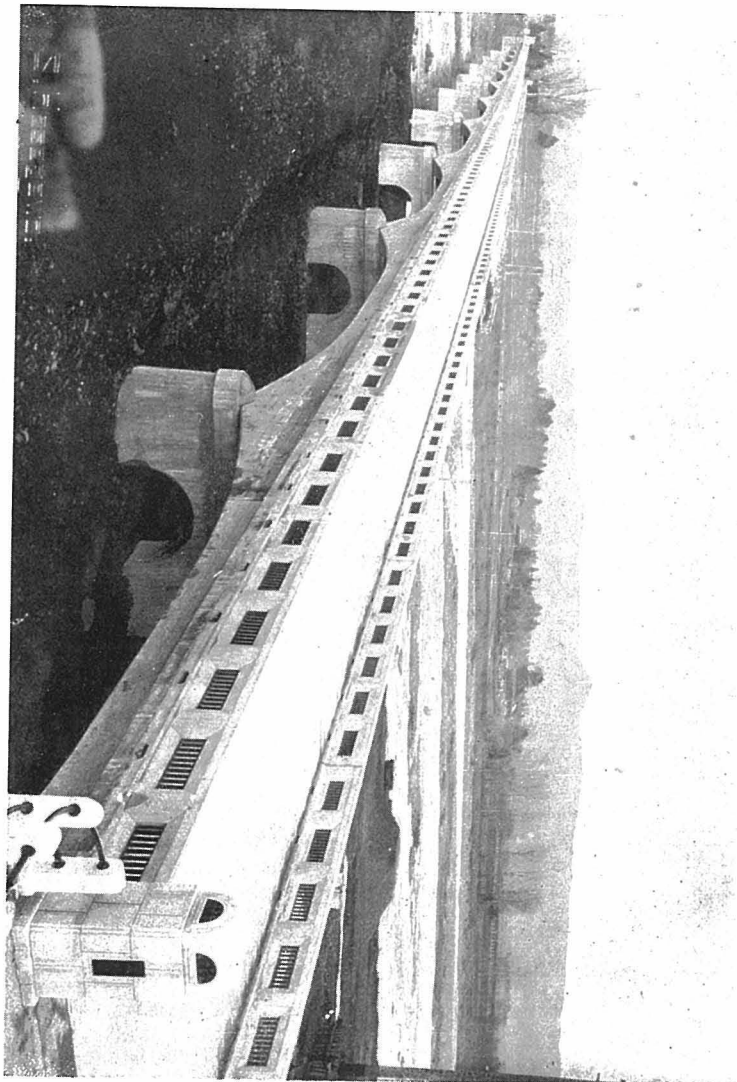
優良品國產ノ瀝青乳劑
東京丸ノ内海上ビル
電話丸ノ内2581-2589

日本石油アスファルト一手販賣

淺野物産株式會社瀝青部

東京丸ノ内海上ビル(電話丸ノ内2581-2589)

岩崎橋秋田縣



本誌第八卷第五號地方通信參照

實話 懸賞公募

一、募集趣旨 道路改良の必要なことは今更申すまでもないが之を充分一般に徹底せしむる爲め平易にして誰れにも判り良いものを募集して改良の宣傳に資し効果あらしめたいのが主眼である。

一、應募資格 第一類 一般（小學兒童を除く） 第二類 小學兒童

一、課題 第一類及第二類共

「イ」實話 道路が改良された爲めに斯ういふ効果が有つたとか、斯ういふ利益が受けられるに至つたといふやうな改良効果又は道路愛護の實踐に依つて得たる効果を要領よく表現せるもの。

「ロ」標語 道路改良の必要を表現せるもの又は道路愛護の宣傳に資するもの。

一、用紙

「イ」實話 成る可く原稿用紙（二千五百字以内）

「ロ」標語 官製葉書 一葉一標語

一、締切 昭和十一年八月末日

一、當選發表 昭和十一年十一月一日發行「道路の改良」誌上を以てするの外入賞者に直接通知す。

一、送付先 東京市麴町區外櫻田町内務省内道路改良會調查部

一、賞金又は賞品

第一類（一般）

實話		標語	
天	金五拾圓一人	天	金拾圓一人
地	金貳拾圓五人	地	金五圓五人
人	金拾圓拾人	人	金參圓拾人
選外佳作「道路の改良」六ヶ月分 若干名		選外佳作「道路の改良」二ヶ月分 若干名	

第二類（小學兒童）

天	金參圓に相當する學用品	道府縣毎二一人
地	金貳圓に相當する學用品	道府縣毎二三人
人	金壹圓に相當する學用品	道府縣毎二五人

一、審査員

道路改良會常務理事 内務省土木局長	岡田文秀
道路改良會理事 工學博士	牧彦七
文藝家	菊池寛
道路改良會幹事 内務省土木局道路課長	新居善太郎
道路改良會幹事 内務技師 工學博士	三浦七郎

一、入賞作品の發表 「道路の改良」誌上又はパンフレット或はポスター等により發表するの外適宜新聞により報ずることあるべし。

- 一、注意
- 一、入賞作品（選外佳作を含む）の版權は本會に屬するものとす。
 - 二、應募原稿は入賞と否とを問はず返却せず。
 - 三、應募者の住所、氏名は「實話」に付ては封皮及び應募原稿の初頭に明記すること。標語に付ては葉書の表面に記入すること。
 - 四、小學兒童は前項住所、氏名の外通學小學校の所在道府縣郡市町村區名及小學校名を明記すること。
 - 五、應募作品なることを明瞭ならしむる爲封筒又は葉書の表面に「懸賞實話（又は標語）應募作品」と明記すること。

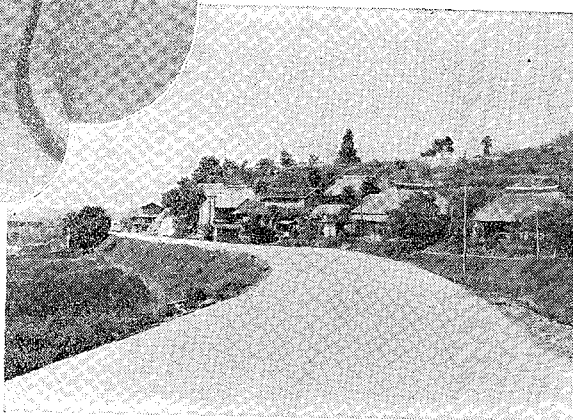
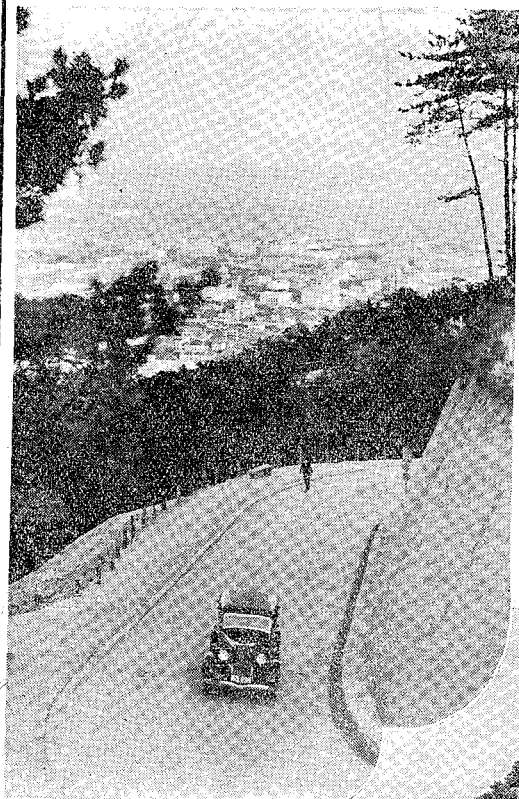
超高級

アサノ

ベロセメント

強度高く
硬り早く
使テ經濟

温泉道路
山形縣五號國道
山形市一上山町間
鋪裝工事
ベロ74.2吨使用 ↓

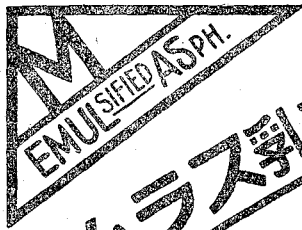


↑
觀光道路
神戸諏訪山登山道
ベロ910吨使用

——— 説明書御申越次第送呈 ———

淺野セメント株式會社

東京市、丸ノ内、海上ビル新館



エムラス乳剤販賣

道路舗装並一般土木互業

新乳剤“エムラスト”發賣

滿洲地方の極寒地にて實地施工の結果從來の瀝青又は瀝青乳劑の一大缺點たる耐寒性を完全に補充し溫度に對する抵抗性を増大せる寒國向の理想的新乳劑なり。

エムラス道路工互業株式會社

本社 東京市向島區吾嬬町西四ノ二四
電話・墨田(七四)二六三七
工場 東京市(滿洲國)新京市、ハルビン市

(朝鮮)群山、春川(北海道)札幌市(九州)
佐賀市、大分市(東北)弘前市(關西)大阪市
出張所 新京市・ハルビン市・群山府・札幌市・佐賀市
大阪市

道路鋪裝

一般鋪裝
互專請負

專賣特許
鈴木木乳劑
製造販賣



國力の

培養は

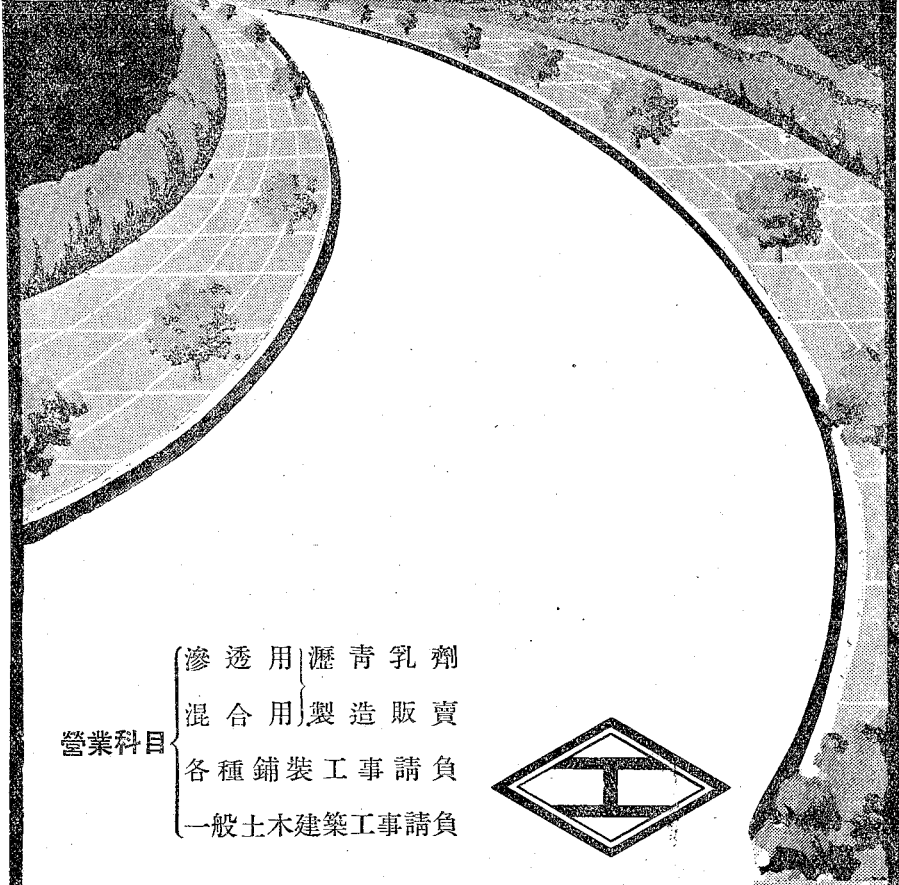
道路から

東京市京橋區銀座西八丁目一番地
日本アムアルト乳劑株式会社

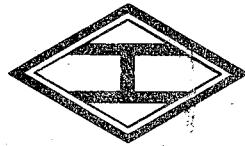
電話銀座一五八三・四七二番

道 路 鋪 裝

(カ タ ロ ク 贈 呈)



營業科目 { 滲透用 } 瀝青乳劑
 { 混合用 } 製造販賣
 各種鋪裝工事請負
 一般土木建築工事請負



東邦工業合資會社

本 社 { 東京市赤坂區青山北町四ノ一〇三 } 工 場 { 神奈川縣川崎市幸町三ノ六一二 }
 { 電話 青山 四九七三・八一四八 } { 福岡縣小倉市當野町下道田一四一三ノ二 }

營業所 { 名古屋市・京都市・大阪市 }
 { 岡山市・廣島市・小倉市・熊本市 }

道路鋪裝工事其他一般土木建築工事請頁

瀝青乳劑アスメント

(滲透用・混合用)製造販賣

碎石割栗石其他土木用石材採掘販賣

昭和工業株式會社

專務取締役

藤宮 惟一

本社 東京市麹町区内幸町一ノ三

大阪七凡

電話銀座 (57) 自五二八八
至五二八九

瀝青工場 東京市芝區月見町二、四
石材採掘場 静岡縣田方郡對島村富戸
尊業所 大阪府吉屋禮懐台北京城

ポ ー ラ ー ハ ン マ ー

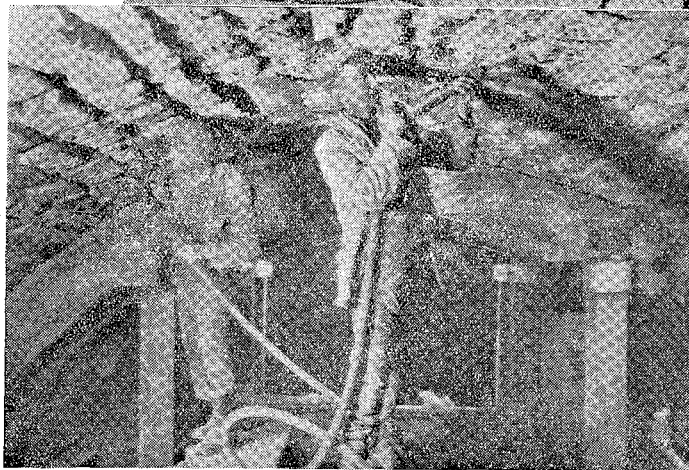
登 録



商 標

堅 牢 耐 久

ポ ー ラ ー
テ モ リ ッ シ ャ ー B A 型
(コ ン ク リ ー ト プ レ ー カ ー)
路 面 工 事 ニ 使 用 ノ 實 景



ト ン ネ ル 貫 通 ノ 掘 鑿 工 事 ニ
ポ ー ラ ー ハ ン マ ー ノ 使 用 中
ノ 光 景 ヲ 示 ス

— 型 録 御 申 越 次 第 送 呈 —

ポ ー レ ル 兄 弟 合 資 會 社

東 京 市 京 橋 區 寶 町 二 丁 目

電 話 京 橋 6308, 6309, 6457

大 阪 市 此 花 區 上 福 島 南 三 丁 目

電 話 福 島 388, 1581

小 倉 市 寶 町 二 丁 目 三 六

電 話 485

土木工學大講座

實務家必備！空前の實際的指導書

理論より實際、工事方法は詳細を極め最新の實際知識を徹底的に公開せる劃期的大講座。講師は何れも實際家として研究家として斯界の最高權威。至土木家待望の國家的大業。實際的指導機關の完成！

内容 全十八卷各巻讀切菊判三五〇頁
見本 表、圖面、例題等満載▽總合
配本 ロース裝製豪華版▽毎月一回
進呈 配本▽送金不要▽會費毎月二
 圓五十錢送呈▽御申込は即刻
 書店でも取扱ひます。

第一回 配本！

鐵筋コンクリート設計法

内務技師 永田年先生著。四百頁の大冊。土木材料として最も廣汎に使用せられ、土木家必須の知識として重要視されるものは實に鐵筋コンクリートの知産を擁護された最も新しく最も特色ある指導書である。

見よ此の内容

1	測量學	北海道帝國大學 教授 林 猛雄
2	應用力學	交 涉 中
3	地 震 學	東京帝國大學 教授 高 田 昭
4	土木工事材料	東京帝國大學 教授 那 須 信 治
5	土木施工法	東京帝國大學 教授 平 田 德 太郎
6	鐵筋コンクリート設計法	鐵道省 技師 永 田 年
7	道路工學	内務技師 佐 藤 利 恭
8	橋梁工學	内務技師 青 木 楠 男
9	鐵道工學	鐵道省 技師 岡 田 武 定
10	都市鐵道工學	鐵道省 技師 岡 田 信 次
11	河川工學	内務技師 宮 本 武 之 輔
12	淺流長砂防工學	内務技師 赤 木 正 雄
13	港灣工學	内務省 技師 鈴 木 雅 次
14	隧道工學	鐵道省 技師 佐 藤 周 一 郎
15	堰堤工學	鐵道省 技師 藤 井 雄 之 助
16	發電水力學	鐵道省 技師 菊 池 英 彦
17	水道	東京市 技師 岩 崎 富 久
18	水道	東京市 技師 高 橋 甚 也

東京 總發行所 鐵道省 技師 岡田武定
 神戶 鐵道省 技師 岡田信次
 神戶 鐵道省 技師 岡田信次
 東京 鐵道省 技師 岡田武定
 東京 鐵道省 技師 岡田武定

新會員 大募集

內容見本進呈

機械工學
 全十八卷、鐵筋コンクリートの最高權威、高懸にして完備せる劃期的大講座

四六條大判、通巻六千八百五十頁、申込金不要、會費毎月二圓八十錢、送料二十二錢、書店でも扱ひます

電氣工學
 全二十二卷、廣汎精緻を極むる高等電氣工學の一

四六條大判、通巻六千八百五十頁、申込金不要、會費毎月二圓八十錢、送料二十二錢、書店でも扱ひます

スルア

道路研究資料

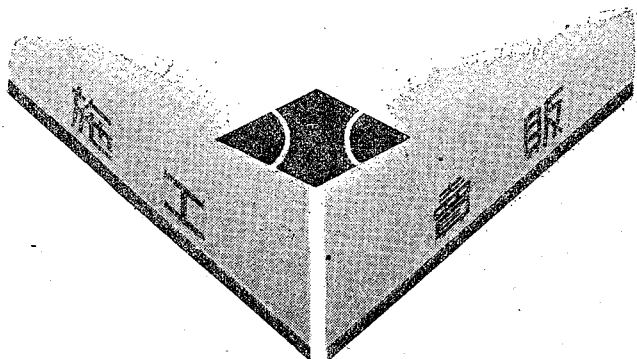
第二輯 定價金六十錢

道路の設計工法並に計畫に就て

本篇は内務技師工學博士藤井眞透氏著作にして左の事項に就き記述せらる。

第一章 總説。第二章 滿洲國の道路の現状。第三章 殖民地及未開地方の道路の計畫及工法。
第四章 産業經濟の見地より見たる道路の總延長。第五章 道路系統の決定方法。第六章 路線の
形狀に就て。第七章 路面の構造及工法に就て。第八章 交通車輛の構造と路面の性質。第九章
道路改良の財源に就て。第十章 道路と鐵道、空路との關係に就て 以上

發行所 道路改良會



ブロンアスファルト
 ストレアスファルト
 ウォーターアスファルト

小倉石油株式会社
 専属販売店

南部商會

本店

東京
 電話

丸の内 三菱六号館
 丸の内 1.654・5.014

出張所

大阪
 電話

西区土佐堀 大同生命ビル
 土佐堀 3.118・4.343



事工装舗路道トルアブスア

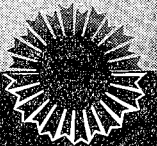
事工装舗トルアフターオウ割乳膏瀝

賣販理代トルアフターオウトルアブスア倉小

賣販造製グソイフルヒサア

社 會 式 株 本 工 市 都

地 苗 三 百 一 橋 京 區 橋 京 市 京 東
番 八 六 二 二 (5 6) 橋 京 話 電

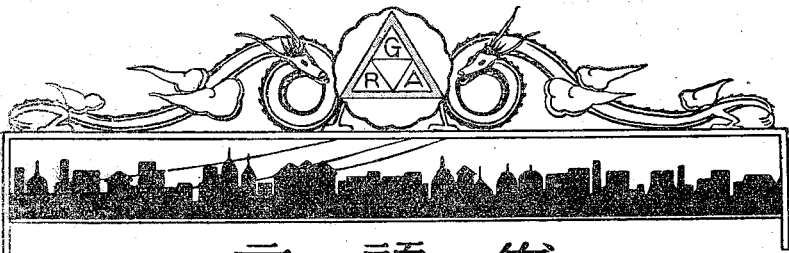


昭和十一年

道路の改良

六月一日

第十八卷
第六號



言 頭 卷

社會は人間を支配すれども人間も亦社會を支配する、人間の内に存する生命の伸暢力は社會に盲従するを許さない。社會の勢力は甚だ大なるのであるが人間は其の復讐の日のいづれなるものへあつたが數年にして倍舊の帝都の姿を出現した、之れ實に市民の生命力が自省と發奮と邁進とにより躍動したるの結果である、斯る生命力の伸暢は社會の如何に拘はらず否社會の勢力を超越して克く新たな社會を創造する、新滿洲國の建設の如き我民間に於ける海外貿易の發展の如き自覺あると自覺なきとを問はず他から抑制し能はざる生命力が舊來的な傳統的な事なれば主義の固陋偏見の社會の硬化を克服して克く我日本帝國を今日に至らしめたのであると信ずる。之れ寔に青年の日本躍進の日本としてふさわしい現象である、夫れ然り然しなれば此現象を呈する新興の國勢は其思想に於て其意志に於て將たまた其道德に於て未來の日本を以て無限に伸暢せしむるに適したるものがあるであらうか、古きは去りて新らしき精神力が把握されて居るであらうか。其處にハツキリした認識が缺如して居るが故に今尚焦燥と不安とか解消されないではなからうか。

國體明微問題に絡らんで衆議院は解散せられて改選の結果は民政第一黨となり政友第二黨に降り無産は飛躍し昭和は失敗した、岡田内閣の存続は豫定せられ如何なる國策が講ぜらるゝの象として廣田内閣が成立した。臨時特別な第六十九回帝國議會の劈頭廣田首相寺内陸相に依つて庶政一新蕭軍の徹底の意圖を有することが言明せられたのである。民政黨の齋藤隆夫氏は國の白眉と賞讃した、齋藤氏は此質問演説に於て寔に克く政治家としての存在と雄辯と勇氣とを發揚したのである。思ふに此質問演説に於て深く考慮せしむる所があつたがまた民政黨の首論及陸相の答辯並に態度は國民をして聊か朗然な氣分を懷かしたものである。又此質問演説に對して未曾有の巨額な昭和十一年度の歲計總額二十三億三百三十餘萬圓の豫算案を殆んど鵜呑みに可決しても國民中敢て異見を公表するものあるを見ないのであるが、衆議院に於ては開院式に於ては力ヲ國運ノ進暢ニ效サムコトヲ期セヨとの勅語を賜はつたので恐懼措く所を知らず諱武一致力ヲ國運ノ進暢ニ效サムコトヲ期セヨとの勅語を賜はつたので恐懼措く所を知らず諱みて聖旨を奉體し聖明に對へ奉らんことを奉答し更らに「聖旨奉體庶政一新ニ關スル今決議を決定し以て内閣諸公と共に協力を盡し民心の安定と國運の恢弘とを聲明し一新ニ關スル今決議に於ては庶政一新を稱へながら其の行動に於て何等見るべきもなく寧ろ毫も自省する所なく單なる儀禮的な空虚な意思の表示を爲すものありと思はれざるも朝野の政治家が果して志操に於ては庶政一新の施政の要諦を那邊に求めんとするが政黨人と非政黨人とを糾合して組織したる廣田内閣に今日之を明確ならしめんとするは事甚だ早計に失す故に吾曹は今後の施政の上

(洩民)